

項 目 名	個別援助の推進
表 題	個々をみつめ ゆとりある生活を目指して
施 設 名	特別養護老人ホームひろた（介護老人福祉施設）

### 1 取り組みを始めた経緯、きっかけ

「特別養護老人ホームひろた」では、基本方針「個々をみつめ ゆとりある生活を目指して」を基に個別援助の徹底を進めている。

#### 「排泄」

- 1 なるべくトイレで排泄してもらう事を目標に、定時及び随時にトイレ誘導を行っている（全くトイレで排泄出来ていない人 30 名中 4 名）。
- 2 尿とりパットは用途別に種類を使い分けている（6 種類）。また、一枚あたりの値段を明記することによってコスト意識をもってもらう。
- 3 夜間は肌ざわりがよい吸収率の高いパッドを使用し安眠できるようにしている。
- 4 便座の高さが 42cm と高かったが安全面を考え 37cm に変更した。  
座位が不安定な人にはトイレ用てすりを使用している。
- 5 弄弁のある利用者に定時のトイレ誘導を行うことでトイレで排便があり弄便の回数が減った。それに伴い入所時からある目の炎症も改善されるのではないかと期待している。

#### 「口腔ケア」

- 1 おいしく食べてもらう、と感染予防のため、1 日 3 回毎食後の歯磨きを行っている。
- 2 嚥下状態の悪い人、胃ろうチューブ、経鼻チューブの人について、毎食前の口腔リハビリ施行（歯ブラシを氷水につけて冷やし、口腔内のマッサージ、肩、首、腕、顔面のマッサージ）。胃ろうチューブの人が 2 年半ぶりに口から食べることができた。
- 3 1 ヶ月に 1 回、チェック表を利用して口腔内アセスメントを行っている。

#### 「食事」

- 1 自分で食べてもらうために利用者個人に合わせた食形態、食器の工夫をしている。
- 2 みじん菜をやめ、荒みじん菜もしくはその場で細かくするようにしている。
- 3 食事内容はなるべく地域性を取り入れ、自宅で食べているような献立にしている。
- 4 バイキングの時はテーマを決め、例えばお祭りならその時に食べたいものを利用者に聞いて献立を作っている。
- 5 調理員が週 1 回、食事時利用者の声を聞いて反映している。
- 6 『食＝命』とにかかわらず食べてもらうための食事作りを目指している。

#### 「入浴」

- 1 入浴日は月～土までとし、夏期(7 月～9 月)は週 3 回以上入浴をしてもらえるように、午前・午後入浴を行っている。
- 2 誘導から入浴後のお茶の援助までを 1 対 1 で対応している。
- 3 どうしても一人でゆっくりと入浴したいと希望のある人がいて、30～40 分間 1 対 1 で対応している。
- 4 特浴は 30 名中 2 名、なるべく一般浴で対応している。
- 5 肌にも環境にも配慮して、石鹸シャンプー、リンス、ボディシャンプーを使用している。

#### 「その他」

- 1 散髪、買物は地域に出かけている。
- 2 電子ロックは常時使用せず、戸締まりの感覚で朝 7 時 30 分に開錠、夜 19 時 30 分に施錠している。
- 3 記録は IT を導入して効率化をはかっている。
- 4 介護記録の開示を行っている。

ケース担当制にすることによって、より個別援助が行えるようになった。

平成 15 年 1 月からはシフトの変更を行い、より「個々をみつめ ゆとりのある生活」を目指して試行錯誤の途上である。